

# 6月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん		8,306	98	8,326	82	98	81	-	0.0	青森、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。青森産はトンネル栽培ものの生育が若干遅れているものの、例年通り中旬にピークを迎える。千葉産は5月中旬の高温の影響で、6月中旬頃には終了となる見込み。全体の入荷量、価格ともほぼ前年並みとなる見込み。
にんじん		6,381	100	6,479	148	88	153	-	0.0	千葉産中心の入荷で全体の約7割を占める。千葉産は4月中旬の寒さにより生育が遅れていたものの、気温の上昇とともに回復してきており、入荷量は前年並みとなる。東北、北海道産は生育がやや遅れている。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。
はくさい		5,583	100	5,693	50	100	57	-	0.0	長野、茨城、群馬産中心の入荷で全体の9割を占める。長野産は4月中旬～5月上旬の低温により定植遅れがあったが、その後の生育は概ね順調。出荷は5月下旬から始まり、6月中旬～下旬にピークとなる。茨城産は6月に入ると徐々に減少し、10日にはほぼ終了する。全体の入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。
ほうれんそう		1,453	100	1,557	391	102	407	-	0.0	東北、関東が主産地となる。関東産は、一部に冬期の低温と乾燥の影響による生育遅れが見られるものの、気温の上昇とともに生育が回復してきており、前年並みの入荷となる。東北産は、低温の影響により生育が遅れている。全体の入荷量、価格ともほぼ前年並みとなる見込み。
キャベツ類		16,975	98	15,915	55	100	62	-	0.0	千葉、茨城、群馬産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は5月下旬にピークとなり、6月中旬まで潤沢な入荷となる。茨城産は例年通り10日過ぎからピークとなり、6月いっぱい潤沢な入荷となる。全体の入荷量、価格ともほぼ前年並みとなる見込み。
ねぎ		4,314	100	4,354	287	98	323	-	0.0	茨城、千葉産中心の入荷で全体の8割を占める。茨城産は生育概ね順調に推移しており、太りも良好で、6月中～下旬にピークとなる。千葉産は低温の影響による生育遅れや強風による曲がりの発生が一部に見られるため、入荷量は前年を下回る。全体の入荷量、価格ともほぼ前年並みとなる見込み。
きゅうり		7,465	100	7,318	192	109	229	98	1.3	埼玉、群馬、福島、茨城産中心の入荷となる。山形産も徐々に入荷が増えてくる。関東産は曇雨天と低温の影響により一部で病害虫の発生が見られ、入荷量は前年をやや下回る。福島産は初期生育の遅れがあったものの、現在は回復してきており、前年並みの入荷となる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり上回るが平年より低くなる見込み。

# 6月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
なす		3,208	100	3,287	351	95	365	-	0.0	高知、福岡、群馬産中心の入荷となる。高知産は6月中旬までは潤沢な入荷となるが、6月末には終盤となる。関東産は4月末～5月上旬の低温の影響で、肥大がやや遅れている。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回る見込み。
トマト		9,401	100	8,727	308	88	275	159	1.7	栃木、茨城、千葉、愛知産中心の入荷となる。関東・西南暖地産とも生育は概ね順調に経過している。関東産の半促成栽培が6月上～中旬に入荷量が増加してくる。東北産は低温と乾燥の影響により生育が遅れており、6月中旬頃から入荷量が増加してくる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回るが平年並みとなる見込み。